

2025 年 9 月 2 - 3 日 南アルプス 北岳バットレス

A：下部岩壁～4 尾根登攀～北岳、B：白根御池～一般道～北岳

L 西野 (A)、村中 (A)、松崎 (B)

1 日目

初日は晴天。ゆっくりと 7 時半に広河原を出発し、この日の宿泊地である白根御池小屋を目指した。昼食を軽く済ませたのち、下部岩壁の偵察へ向かう。d ガリー大滝、十字クラック、c ガリー大滝、b ガリー大滝の取付き地点を確認しているうちに日が傾いてきたため、この日は偵察のみとした。

2 日目

出発時には星空が広がっていた。日中は晴れと曇りが入れ替わる天気だったが、下山まで雷雨に遭うことはなかった。午前中の北岳山頂付近は強風だったようだが、バットレスは穏やかであった。

下部岩壁取付きまで

午前 3 時に起床し、4 時に行動開始。大樺沢左俣コースを進み、右手に涸れ沢が現れる。2 つ目の涸れ沢（北岳方向を見ると 5m の大岩が見える地点。B 沢あるいはバットレス沢と呼ばれる）と、流れのある C 沢との間にある尾根に取り付いた。トレースは明瞭で、ところどころにピンクテープもあった。

下部岩壁

下部岩壁は正面右奥の b ガリー大滝を選択。通常ルート of 左側を辿ったようで残置ハーケンは見当たらなかった（本来は草付きから 5m 程度はなれたクラック部分を登るようだ）。1 ピッチで灌木帯に入り、さらに半ピッチをロープで確保して進むと草付きの踏み跡に出た。そこから進んで c ガリーを越えると、岩に「4 オネー」とのペイントがあり、その先に「4」と小さく書かれた取付きが第 4 尾根の開始点となる。

第 4 尾根登攀

- ・ 1 ピッチ目：傾斜のあるクラック（わたしにはほぼ垂直に見えた）。ホールドは乏しくフリクションも効きにくい、クラック内に手足を決めて慎重に登る。
- ・ 2～3 ピッチ目：比較的緩やかな斜面で、一部は村中がリードして前進。
- ・ 4 ピッチ目：垂壁。時間がかかりそうだったため鎧や A0 を使って突破。数メートルだったが大きな消耗を強いられた。垂壁上には支点と残置カラビナがあり、そこから 15m の懸垂下降。下降点も急傾斜で気が抜けない。
- ・ 5 ピッチ目：緩やかな傾斜ながら滑らかなスラブで緊張感が続く。
- ・ 6 ピッチ目：高度感のあるリッジトラバース。下を見ないように手足に集中。途中の縦クラックからは切れ落ちた崖が見え、ここが 2010 年に大崩落を起こした箇所と聞く。リッジも不安定で再び崩落しそうな印象だった。
- ・ 7 ピッチ目：城塞ハング。難所であり、体力の消耗と時間を考慮して残置カムを利用し力

技で突破した。

登攀を終えて装備を解除し、10分ほど歩くと一般道に合流。さらに10分で北岳山頂に到達した。

下山

下山は一般道を駆け下り、白根御池小屋でテント装備を回収。バスの時間には間に合いそうになかったため、小屋からタクシーを予約して広河原から芦安駐車場へ戻った。

コースタイム

1日目

7:30 広河原 - 10:15 白根御池小屋

11:30 白根御池小屋 - 12:00 大樺沢二俣 - 17:00 白根御池小屋

2日目

4:00 白根御池小屋 - 4:20 大樺沢二俣 - 5:00 B 沢 - 5:50 下部岩壁取り付き - 8:00 下部岩壁草付き - 9:00 第4尾根取付き - 13:55 終了点 - 14:30 北岳山頂 - 15:50 白根御池小屋 - 17:35 広河原









